数学

京都大学 [理系] (前期)

 <全体分析>
 試験時間 150 分 解答問題数 6 題

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

例年と同様、誘導のための小問はない。

その他トピックス

1は独立小問のセット、4は文系5と類似の問題。

<大問分析>

出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
複素数平面	数C	極形式の利用	やや易
積分法	数Ⅲ	定積分の計算	標準
整数	数A	3で割った余りを考える	やや難
微分法	数Ⅲ	接線と関数の増減	標準
空間ベクトル	数C	平面上の条件と体積	標準
極方程式 空間ベクトル	数C	媒介変数表示される関数のグラフ	標準
確率 数列(漸化式)	数A 数B	漸化式の利用	難
	•		
	複素数平面 積分法 整数 微分法 空間ベクトル 極方程式 空間ベクトル	複素数平面 積分法 数III 整数 数A 微分法 数III 空間ベクトル 数C 極方程式 空間ベクトル 数C	複素数平面 積分法数C 数III極形式の利用 定積分の計算整数数A3で割った余りを考える微分法数III接線と関数の増減空間ベクトル数C平面上の条件と体積極方程式 空間ベクトル数C媒介変数表示される関数のグラフ確率数A漸化式の利用

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

誘導されずに方針を立てる力、論理的でわかりやすい答案を作る力を養う。 難しめの問題で添削指導を受けることを勧めたい。